



かもめ便り

記事紹介

納涼祭
春の大運動会
給食だより
配食サービス
健康講演会
Dr.'sエッセイ

1 面
2 面
2 面
3 面
3 面
4 面

社会福祉法人 小渦会 鳴門シーガル病院
理事長 並木 俊明

シーガル病院

検索

【ホームページ】 <https://k-seagull.jp/> 【所在地】 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦字阿波井57番地 【TEL】 088-688-0011 (代)

イベント

納涼祭

7月26日(金)納涼祭を開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大以後、久しぶりに地域の方々をお招きしての開催となりました。

やきそば、カクテルゼリー、アイスクリームの屋台が並び、子供から大人まで幅広い年齢層の方々がおいしい料理に舌鼓を打っていました。

また、水鉄砲による射的ゲームも大人気で、子供たちの楽しげな声が響き渡っていました。

夕方になると琉球国祭り太鼓さんの演舞がはじまりました。迫力ある太鼓のリズムと華やかな動きが印象的で、多くの方が自然と手を叩いたり音楽を口ずさんだりと演舞を堪能されていました。

大盛り上がりを見せた演舞の後には、納涼祭の最後を締めくくる花火が打ち上げられました。静かな夜空に最初の花火が咲いた瞬間、会場からは一斉に歓声が上がりました。次々と上がる花火に、皆さま目を輝かせて「キレイだね」と楽しんでいただきました。

今年は多くの地域の方々にご参加いただき、患者さまや職員と交流して楽しい時間を過ごさせていただきました。地域の絆を深める場として、とても大切な機会となりました。

ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



イベント

春の大運動会



5月11日（土）5年振りに「小渦会 春の大運動会」が開催されました。当日は晴天に恵まれ、絶好の運動会日和になりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催が見送りになっていましたが、久々の開催に患者さんも喜んでおり、とても楽しそうに参加していました。

今年は瀬戸中学校の皆さんも久しぶりにお招きし、ご参加いただきました。



元気いっぱいの生徒さんの姿に、患者さんも職員も、たくさんパワーをもらいました。

全員でラジオ体操をした後、玉入れ、風船割り競争などが行われました。また、阿波踊りでは参加者全員が一緒に体を動かし、一体感のある楽しい時間を共有しました。

今年も、けが人等もなく無事に運動会を開催することができました。ご協力、ご参加いただいた皆様、大変お世話になりました。



給食だより



5月5日はこどもの日ということで、鳴門シーガル病院では、毎年この時期に給食で、和菓子を提供しています。

病棟や食事形態によって異なりますが、水ようかんやねりきり、ちまきとかしわ餅の中から1つ

食事につきます。

患者さんからも喜びの声をいただいております。



地域交流

配食サービスを行いました。

4月2日(火)と5月7日(火)に鳴門市瀬戸町の堂浦地区配食サービスを行いました。

当法人では年に数回、法人本部の所在地でもある鳴門市瀬戸町において、堂浦地区と明神地区にお住いの75歳以上の高齢者を対象に、地域のボランティアの方と一緒に、お弁当をお配りしています。

受け取っていただいた皆さまからは、ご好評の声をいただいております。「いつもお弁当を楽しみに待っている」と言ってくださる方も多くいらっしゃいます。

今後も引き続き、地域の皆さまにの豊かな生活に少しでも貢献できるよう、この活動を継続してまいりたいと思います。



5月7日(火)のお弁当

【内容】

炊き込みご飯、エビの天ぷら、肉団子、かき揚げ、煮物、鶏肉の甘辛煮、など
この日は、パンも一緒に。



4月2日(火)のお弁当

【内容】

大根の酢の物、シュウマイ、ミートボール、玉子焼き、野菜巻きコロツケ、煮物、野菜ミンチの高野巻きなど



イベント

健康講演会開催のお知らせ

今年度も、右記のとおり健康講演会を開催する運びとなりました。講師は古川信二先生で、演題は「注意してほしい感染症—2024秋・冬—」です。講演の前後には、看護師・栄養士・薬剤師が対応する健康チェック・健康相談も実施しております。それに伴い、毎月第3木曜に定期開催している健康チェック・健康相談会の10月開催はございませんのでご注意ください。

地域の皆様の健康維持のお役に立てるよう、今後も様々な講演会等を開催していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

健康講演会

注意してほしい感染症

—2024秋・冬—

講師：鳴門市シーガル病院

副院長 古川 信二 先生

日時：10月16日(水)

AM 10:00 ~ 11:00

会場：瀬戸公民館(鳴門市瀬戸町堂浦)

参加費：無料



2022年7月8日午前、奈良市で選挙演説中の安倍晋三元総理大臣が聴衆に紛れ込んでいた犯人から射殺される痛ましい事件が起こった。犯行に使われたのは手製の散弾銃であり、一発目は免れたようだが、二発目が安倍元総理の首と胸に当たりそれが致命傷となってしまった。政治信条はもちろん人によって違うのでそれを抜きにしてこの事件を考えてみたい。

政治家の暗殺事件と聞けばまず思い浮かぶのがダラスで起こったジョン・F・ケネディ暗殺事件であろう。パレード中の走るオープンカーの上にいる人物をライフル銃で狙撃して暗殺するなどよほど狙撃に長けた人物でないと行えない。しかし最初に捕まった人間はそれに該当せず、そしてその男が別の人物に殺されるなどして謎が謎を呼ぶ展開となってしまった。

私の記憶が正しければその調査レポートは2039年まで公開されないはずである。あのトランプ元大統領が公開を目指していたが、目にして恐ろしくなって取りやめたという逸話がある。全世界に衝撃が走る内容であることは間違いない。それに引き換え、素人の犯人が5メートルの距離まで誰にも制止されることなく近づき手製の銃で日本の要人が撃たれて殺されるなど、世界中が逆の意味で驚く悪い冗談としか思えない。

あえて医学的なことを付け加えれば、突然の轟音、わきあがる噴煙に遭遇すると人は短時間の間フリーズして動けなくなってしまう。一方、それをすでに体験したことがある犯人は他の人よりコンマ数秒早く行動することができてしまい、それが二発目の発砲をいとも簡単に許すことになってしまった。護衛官が安倍さんを

蹴ってでも突き落としていればとも言われるが、フリーズした状態であれば時間的におそらく無理ではなかったか。

支持する人も多い一方、反感を抱く人も多かった安倍元総理大臣。いずれにせよ大勢の人が気になる存在であったことに間違いない。気になる存在が突然この世にいなくなれば人々の心にぽっかりと穴が開いてしまう。何とも言えぬ虚無感が広がる中、思い浮かんでくるセリフがある。アニメ「家なき子」で座長のビタリスじいさんが困難に直面した主人公レミ少年に何度もこう呼びかけていた。「レミ、前へ進めじゃ」。次の時代に新たな希望が灯されることを願いつつ、合掌。

医師 澤田 和之

【編集後記】

まだまだ残暑厳しい気候ですが、少しずつ朝晩は涼しくなってきました。気温差で体調を崩しやすい季節です。体調管理に気を付けていきましょう。

次号(『かもめ便り』第35号)は、2025年1月に発行の予定です。

広報委員会



鳴門シーガル病院 交通案内

● JR鳴門駅から「北泊・堂浦行」徳島バスで堂浦(どうのうら)下車(所要時間20分)

● 直営渡船利用 (所要時間2分)

◎ 渡船(無料) 運航時間

午前7時30分から午後5時20分まで

定時運航(10分~30分間隔)しています。

TEL088-688-0011(代)

